

No.315



一般社団法人
青森県理学療法士会ニュース

平成23年度定期総会議事録要約

議長：佐藤誠剛氏（弘前市立病院）
書記：伊藤真由美氏（老健つがる），木村文佳氏（外ヶ浜町立中央病院）
議事録署名人：荒谷光太郎氏（弘前脳卒中・リハビリテーションセンター）
千葉直氏（黒石病院）

日時：平成23年6月18日（土） 15：10～17：20
場所：弘前大学大学院保健学研究科 第24講義室（弘前市）
出席者数：440名（うち委任状出席357名）

議 題

- 第1号議案 平成22年度事業報告
- 第2号議案 平成22年度会計・資産報告
- 第3号議案 平成22年度会計・資産監査報告
- 第4号議案 平成23年度事業計画・予算案
- 第5号議案 役員改選
- 第6号議案 東北ブロック協議会理事選出
- 第7号議案 その他

《議案審議》

※選挙管理委員会より，役員選挙に関して立候補が定数内のため信任投票を行う旨の説明があり，投票用紙を配り，投票を行った。

尚，開票に当たっての選挙立会人に葛西弘司氏，橋場龍進氏を選出した。

第1号議案 平成22年度事業報告

報告：事務局長 後藤明教

- ・平成22年度の士会員数は564名（休会34名）で，新入会員は62名であった。
- ・会費未納者が，19名であった。
- ・理事会は年間を通し6回開催され，震災後に三役会が1回開催された。
- ・各圏域に於いて介護認定審査会委員及び障害区分審査会委員の推薦を行った。
- ・協会代議員は選挙により，伊藤和夫氏，相馬光明氏，川口徹氏の3名が選出された。
- ・職能局主催の施設管理者懇談会が2回開催され，情報の共有化を図った。
- ・学術局主催の研修会・特別講習会等は，例年通り開催された。
- ・平成23年3月19～20日開催予定の第35回県学会は，震災の影響で順延となった。
- ・理学療法研究第28号を，平成23年3月に850部発行した。
- ・POS合同青森県訪問リハビリテーション研修会を開催した。
- ・士会ホームページのデザインを変更し，更新の回数を増やし情報提供を行った。
- ・第30回東北理学療法学会の準備委員会を立ち上げ，テーマや開催時期を検討した。
- ・士会40周年記念誌を平成22年8月によりやく発行できた。

第2号議案 平成22年度会計・資産報告

報告：事務局長 後藤明教

- ・平成23年3月31日までの会費未納者が19名であった。

第3号議案 平成22年度会計・資産監査報告

報告：監事 三浦時男, 山田 伸

- ・平成23年5月29日(日)青森県立中央病院において平成22年度監査を実施した。
(出席者：後藤明教事務局長, 佐藤洋財務部長, 古木名寿登職能局長, 小村博広報局長, 中村正直社会局長, 二本柳洋学術局長, 三浦時男監事, 山田伸監事)
- ・一般会計の収支, 決算および資産は適正に管理されていた。
- ・会費未納者は, 19名であった。
- ・会員数が600名を数え, 年間の予算規模も大きくなり会計を管理する財務担当者の負担は膨大である。業務の分担を促進し負担の軽減を図る必要がある。

【質疑応答】

- Q. 決算書の予算計上に対して決算額が少ない項目が目立つが監事からの指摘は？(石川玲会員)
- A. 予算執行が適正に行われていたので, その点では指摘していない。(山田監事)
- A. 予算は全員が参加することを予想して立てているので, 参加者の状況によって減る場合がある。まだ手弁当で行っている部分もあるので決算額が少なくなる場合が多い。(後藤事務局長)
- 第1・2・3号議案 承認

第4号議案 平成23年度事業計画・予算案

提案：事務局長 後藤明教

- ・新組織体制の基で各事業に取り組んできたが, まだ機能していない部分もあり今後の活動を通して見直しを図りながら, 円滑な運営が出来るように努力していく方針である。また, 今回の大震災に関しては, 中長期的な支援が必要なことから, 震災県からの要請に対応し, 可能な限り支援を行う。
- ・会費納入制度が, 変更になるので会員への周知を図り, 財務処理の効率化を図る。
- ・会員相互の親睦(特に若手会員との)を図る親睦会やスポーツ大会等を実施する。
- ・来年度診療報酬・介護報酬のダブル改定となるので情報収集および提供を行う。
- ・青森県理学療法士会の宣伝用グッズを作製する。
- ・東日本大震災により順延となった第35回県学会は, 6月19日に開催。
- ・第36回県学会(八戸支部担当)は, 平成24年6月に開催予定で準備を進める。
- ・新プロの研修会は, 今年度3回開催予定とする。
- ・おいらせ町は, 今年度より本来の八戸支部の会員となる。
- ・第30回東北理学療法学会を平成24年11月17日～18日に開催する運びで, 準備を進めスケジュールを立てる。
- ・災害対策委員会は, 震災県からの支援要請窓口として対応すると共に, 災害支援ボランティアを募集し, 今後の対応を図る。

【質疑応答】

- Q. 職能局の予算計上は, 前年度と同じであるが前年度予算執行されていない項目も同じで良いのか。また, 災害支援に実際行った場合は, 職種を超えて支援活動をする場合があるが把握しているのか。(対馬浩志会員)
- A. 実際は, 管理者懇談会の会場費や部員の行動費として使用している。また, 今年度は, 医療報酬・介護報酬のダブル改定があり, 情報収集の為にも予算化した。(古木名職能局長)
- A. まだ, 岩手県士会より支援の詳細が示されていないので, どんな支援を行うかは明確でないが, 支援に当たってはいろいろな知識が必要となる。そのため, 事前研修を行う予定であり, ぜひ, そのときは講師として協力して欲しい。(中村災害支援対策委員長)

Q. 会員管理に関して、平成 22 年度は各支部への異動情報が無かったようですが、ぜひ教えて頂きたい。もう一つ、平成 22 年度マイナス決算だったのに、また、総会費など同じ予算計上しているのはなぜか？（館山智格会員）

A. 士会ニュースには掲載していたものの連絡先がわからなかったため支部事務局にはご迷惑をおかけし、お詫び申し上げます。今後は、支部事務局へ送信するようにします。

総会等の予算計上に関しては、昨年度、総会単独で行ったため参加者が少なく決算額が少なかったが、今年度は学会と同時期開催で参加者が多く予想されたので同額を計上した。（後藤事務局長）

Q. 会計年度は、4月1日から翌年3月31日までとなっているが総会で承認されるまでの間の予算執行はどうなっているのか。また、学術研究助成費については積極的に使用して欲しい。（石川玲会員）

A. 総会までの間の予算執行は、便宜上理事会承認としてもらっている。（後藤事務局長）

第4号議案 承認

第5号議案 役員改選

立候補者が定数であり、信任投票により、以下のように選任された。

理事 伊藤和夫（あおもり協立病院），安田友久（青森労災病院），佐井川匠秀（浪打病院）
古木名寿登（尾野病院），川原田里美（青森県立あすなろ医療療育センター）
川口徹（青森県立保健大学），山谷光仁（十和田市立中央病院），小村博（津麦園）
中村正直（むつりハビリテーション病院），相馬光明（むつ総合病院）
二本柳洋（三沢市立病院），後藤明教（黒石市立国保黒石病院）
村上三四郎（東北メディカル学院）

監事 三浦時男（自宅），山田伸（青森県立中央病院）

（届け出順，敬称略）

第5号議案 承認

第6号議案 東北ブロック協議会理事選出

以下のように、2名が再任された。

伊藤和夫氏（あおもり協立病院），川口徹氏（青森県立保健大学）

第6号議案 承認

第7号議案 その他

10月5日に甲府で開催される全国会長会議における各県士会からの提出議題について、何か議題がありましたら7月20頃までに士会事務局へお寄せ下さい。その後の、理事会に諮り、提案したいと思います。

以上

緊急全国会長会議報告

青森県理学療法士会副会長 川口徹

日時：平成 23 年 5 月 26 日（木）13：00～15：00

場所：シーガイアコンベンションセンター

まず、会議に先だって東北地域の被災県の岩手県、並びに宮城県の理学療法士会会長挨拶があった。その後、半田協会長から、協会の震災後の対応についての報告があった。特に、震災ボランティアの派遣が遅れた事実があり、その理由として①余震などによる二次災害が心配だったこと②震災範囲が大きく、どこに派遣するかなどの考慮が必要だったこと③思いつきで来るのではなくて継続した支援が欲しいと言われていたこと④ JMAT からは来たり来なかつたりであるなら、来なくてよいと言われたことなどがあった。

4月3日に仙台若林区にボランティアが入り、神戸を想定した緊急時対策マニュアルは、震災の種類と規模から考えても不十分であったことがわかった。震災範囲も広く、情報もいろいろな所から入

ってくることも混乱を引き起こす原因にもなっていた。

リハビリテーション医からは、処方が必要との話まで出てきた。これは、ボランティアのステージが変わったということもあり、いわゆる、医行為のような活動になってきているから、噴出してきた問題と認識したとの説明であった。

協会本部では、協会の震災後の対応について、政府や与党に働きかける段階で、マスメディアを動かし動いた方が良くと認識し **NHK** や新聞などの取材と放映があった。また、東北ブロック緊急会議を **4月16日** に行い現状把握をし、被災した県理学療法士会とコンタクトを密にし、**5月1日** には岩手県の被災会員を支援活動支援スタッフとして雇用したとのことであった。

宮城県における災害支援事業

協会ボランティアの活動では、京都・神戸から来た保健師の元で環境設定をした。

5月7日 から気仙沼での活動が始まり、医療的より **ADL** 指導的内容の仕事になった。

宮城県での仮設住宅は **4,300** 戸の要望が **2,000** 戸の準備がなされているとの情報がある。

岩手県における災害リハビリテーション支援活動

セラピスト **3** 団体が集まって支援活動にあたっている。

活動方針としては「望まれた要望」に真摯に対応することとしている

仮設住宅が徐々に建ってきており、**PT** が何ができるかを模索している。

そして、継続的な活動をしていこうと考えている。

被災地養成校の実習地支援について

臨床実習の受け入れについては、多数の施設が受け入れを提案してくれた。

本会の財政的支援（案）から

青森、秋田、山形、の各県理学療法士会に **50** 万円ずつ、支援活動補助として渡す。

現地には長期的な支援が必要になると認識している。

財源的支援のためチャリティー **T** シャツ販売などの企画をしている。

義援金の使途について

今回の震災での家屋全壊の会員 **10** 名、半壊の会員 **10** 名程度との情報がある。

義援金は単年度の事業にするか複数年度の事業にするかの検討が必要。

→まずいったん会計を締めて対応していこうと考えている。

この義援金は緊急支援的性質でもあり、平成 **24** 年度については考えていない。

平成23年度 第1回東北ブロック協議会理事会報告

青森県理学療法士会副会長 川口徹

期日：平成 **23** 年 **5** 月 **21** 日（土） **13:00**～**16:00**

会場：松田病院エバーホール

まず、東北ブロック協議会の会長、副会長、監事の選出に関する件が話し合われ、減退を継続することとなった。すなわち、会長：渡邊好孝（宮城）、副会長：高橋仁美（秋田）、監事：安藤等（宮城）、高橋穂（山形）となった。さらに、事務局長選任に関しても、現体制で継続することとなった。

報告事項としては、東北ブロック協議会会計監査、第 **28** 回学術大会：秋田県理学療法士会の監査報告があり、双方とも適正に執行されていたと報告があった。

また、第 **28** 回学術大会（秋田）の報告がされ、参加人数 **524** 名で、盛会であったとのことであった。さらに、第 **29** 回学術大会（岩手）の報告があり、例年の **2** 日間開催を **1** 日にして全体を短縮するプロ

グラムにしたとのことであった。第30回学術大会（青森）の報告も行われ、「理学療法イノベーション」というタイトルとその趣意はおおむね了承された。

議事としては、平成22年度決算および平成23年度予算案について承認された。

査読システムを円滑にするために、査読者の意見が分かれた場合は、その投稿論文の研究内容に関する専門家の意見を聞いて判断するという事となった。

各県理学療法士会のバリアフリー化を進めることとなった。他県の理学療法士会会員の参加については、当該理学療法士会が参加条件を明確にし、それに伴い、東北ブロック協議会のホームページを進めることとなった。

平成23年度 青森県理学療法士会理事会要約

<第1回理事会議事録>

日時：平成23年4月23日（土）15：00～17：30

場所：東北メディカル学院 会議室

出席者：伊藤和夫，川口徹，相馬光明，中村正直，山谷光仁，村上三四郎，古木名寿登，安田友久，佐井川匠秀，二本柳洋，後藤明教，三浦時男，山田伸，三浦雅史，藤田俊文

書記：木村文佳，伊藤真由美

案件：

I. 報告事項

1. 東北ブロック所属県会長緊急対策会議報告

・4月16日（土）13：00～

マリオス（盛岡地域交流センター）で開催（伊藤会長，安田理事出席）

被災状況及び県士会活動状況，実習施設不足への対応。

日本理学療法士協会の活動状況（協会ホームページ参照）。

被災県士会への緊急援助金の支給，被災会員への財政的支援を行う。

災害支援ボランティアの派遣を予定。

2. 士会三役会報告

・3月26日（土）あおもり協立病院にて開催

平成23年3月11日（金）に発生した地震・津波による会員の被害状況を把握。

県士会会員は幸運にも皆無事であった。

日本理学療法士協会への義援金として，10万円を拠出する。

また，東北ブロックの中でも被害の大きかった岩手県士会，宮城県士会，福島県士会に対し，見舞金として10万円ずつ拠出することとする。

県士会総会は6月18日（土），県士会学会は6月19日（日）に開催する予定。

II. 協議事項

1. 各部局より

1) 事務局

新入会は50名の予定であり，士会員総数は610名程度となる。

会費引き落としの制度が変更されるため，士会費の入金が1ヶ月程遅れる見込みである。

2) 職能局

平成22年度は施設管理者懇談会を2回開催したが，情報の共有化のためにも有意義であるので今年度も2回は開催する予定である。

3) 学術局

理学療法研究第28号は，平成23年3月に850部発行したが，印刷費は今年度の予算からとなる。

第35回県学会は，震災の影響で順延となったが，6月19日（日）に1日開催の予定で準備を行っている（特別講演の講師には誠に申し訳ありませんが，一般演題のみで対応）。

第36回県学会は，八戸支部担当で開催予定であるが，開催時期について今後検討する。

4)教育局

生涯学習部の研修会は例年2回で開催していたが、今年度は3回の予定で計画している。
協会理学療法士講習会は、2テーマで開催予定（詳細はホームページ掲載）。
特別講習会も年3回開催予定で計画している。

5)社会局

POS訪問リハビリテーション特設委員会は、できれば継続したい。

6)支部局

今年度より、おいらせ町の施設が本来の医療圏域である八戸支部会員となる。

7)表彰委員会

学術奨励賞は、国立病院機構青森病院の前田千尋氏、松本知也氏が受賞となった。

8)第30回東北理学療法学会準備委員会

テーマ：理学療法イノベーション

期日：平成24年11月17日～18日 会場：青森市文化会館

学会長：川口徹 副学会長：小村博 準備委員長：三浦雅史

今後準備委員会を開催して詳細を検討する。

9)士会40周年記念事業実行委員会

平成22年8月ようやく記念誌を発行することで事業を完結。記念誌は約100部の残あり。

III. その他

1)災害支援対策委員会の立ち上げ：委員長は中村正直

新潟県士会より、当士会への義援金の申し出があったが、当士会会員はほとんど被害がなかったため、新潟や山形県への避難民のために利用して頂くようお願いした。

2)東北ブロック学術局員を安田友久氏より藤田俊文氏へ変更することを承認。

3)平成22年度の会計監査を、5月29日(日)青森県立病院リハビリ科にて開催予定。

4)次回理事会は、6月18日の定期総会前に開催予定。

<第2回理事会議事録>

日時：平成23年6月18日（土）13：30～15：00

場所：弘前大学大学院保健学研究科総合研究棟第24講義室

出席者：伊藤和夫、川口徹、相馬光明、小村博、中村正直、山谷光仁、古木名寿登、佐井川匠秀
二本柳洋、後藤明教、三浦時男、山田伸、小笠原博治、田村拓也

書記：木村文佳、伊藤真由美

案件：

I. 報告事項

1. 東北ブロック協議会報告

- ・5月21日（土）仙台市にて開催（伊藤会長、川口副会長出席）

会長・副会長・監事の選出に関しては、現体制で継続することで承認。

第29回学術大会は、例年の2日開催を1日開催で実施することで承認された。

第30回学術大会（当士会担当）は、趣意及び内容についても概ね承認を得た。

2. 緊急全国会長会議報告

- ・5月26日（木）シーガイアコンベンションセンター開催（川口副会長出席）

東北地域の被災県からの会長挨拶があり、被災状況等の報告があった。

半田会長より、震災後の協会の対応についての報告があった。

今後の災害支援の案や義援金の使途についての提案がなされた。

II. 協議事項

1. 第36回県学会について

- ・八戸支部担当となるが、小笠原学会長、田村準備委員長より開催時期を平成24年6月にしたいとの提案があり、メリット、デメリットを検討した結果6月開催予定で承認された。

2. 平成23年度予算案について

- ・5月29日開催の監査結果を受け平成23年度の予算案を立案したが、災害対策支援に関する費用はどのくらいになるのか、概算での予算となる。

3. 岩手県士会への支援活動について

・岩手県士会より支援活動の協力案内が届いており、秋田県士会とも連携しながら支援活動を行う予定である。

支援ボランティアの募集を募るとともに、研修を行いながら支援に対応する。

協会よりブルゾンが 30 着届いており、青森県士会のロゴを追加し啓蒙も図る。

III. その他

1. 次回理事会は、7月23日（土）青森市にて開催予定。

第35回青森県理学療法士学会を終えて

第 35 回青森県理学療法士学会 準備委員長 長谷川 至

6月19日、弘前大学医学部保健学科にて第35回青森県理学療法士学会が開催され、164名（会員153名、会員外11名）の方々にご参加いただき、成功裏に終了することができました。東日本大震災の影響で会期を延期し、規模を縮小したにもかかわらず、多くの方々にご参加いただきまして誠にありがとうございました。当初の計画では、一般演題の他に、特別講演、教育講演、公開講座を予定しておりました。しかし、講演は全て中止し、一般演題のみとさせていただきました。多分野にわたる内容での講演、公開講座を企画しておりましたが、中止せざるを得なくなり非常に残念です。講師の先生方には、準備していただいたにもかかわらず、ご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。学会の企画ではなくとも、講演会や研修会など別な場で、講演していただける機会を設けることができればと思っております。規模は縮小しましたが、一般演題は若手からベテランまで、多分野にわたる多彩な口述30題がありました。各演題ともに活発な討議がなされ、これまでの学会と変わらず充実した内容であったと思っております。当士会の会員は600名を超え、学会の参加者もさらに増加することが予測されます。今後は会場確保など学会運営が難しくなることが予測されます。理学療法の質的向上、青森県理学療法士会の発展のため、青森県理学療法士学会が寄与し、継続されていくことを期待しています。

今回の学会では、東日本大震災の義援金箱を設置し、総額14,083円が集まりました。参加者の皆様のご協力に感謝致します。これは全て、青森県を通じて被災地の復興に活用していただくよう寄付する予定になっております。

学会の計画変更に伴い、関係各位にご迷惑をおかけしたにも関わらず、多大なる配慮を賜りましたことに深謝いたします。準備運営に関わった方々には、多大になる作業負担を強いる結果となりましたが、皆様のご協力により無事学会を終えることができ、この場をお借りして深謝いたします。



平成23年度青森県理学療法士会 情報交換会報告

情報交換会担当 藤田 俊文

平成23年6月18日(土)の平成23年度定期総会終了後に、青森県理学療法士会情報交換会を開催致しました。本来であれば、3月の県学会1日目終了後に行っていたはずですが、震災の影響により3月の学会は中止となり、情報交換会も中止となりました。しかしながら、35回学会が6月19日に順延することが決定し、また平成23年度定期総会が学会前日に実施されることになっていたため、多くの会員が集まるには調度よい機会と考え、情報交換会を実施する運びとなりました。

今回の会場は、弘前市にあるホテルニューキャッスルで実施し、参加者は84名と多数の会員の皆様にお集まりいただきました。今回は学会前日の開催ということもあり、3月に行われる予定であった情報交換会の参加予定者(約100名)よりは大幅に少ないだろう(60～70名程度)と予測していましたが、良い意味で予想が外れました。

はじめに県士会会長の伊藤和夫先生より一言頂き、その後、乾杯の挨拶は第35回学会長である健生病院の小島俊夫先生に行って頂きました。その後の歓談では、会員間での熱い情報交換が行われ、また大学時代の同期との再開を楽しむ会員もおり、参加者の方は有意義な時間を過ごしていたように思います。最後に学会準備委員長である弘前記念病院の長谷川至先生の一本締めにて、情報交換会は終了となりました。実は、3月に行われるはずだった情報交換会では、弘前城築城400年を記念して作成されたキャラクターマスコットの「たか丸くん」が飛び入り参加する予定でした。とても愛らしい(?)ゆるキャラの「たか丸くん」をご存知の方は弘前市周辺の方々だけかもしれませんが・・・

さて、昨今の理学療法士の急増に伴い、今回のような会員間の情報交換会は改めて重要であると感じました。今後、理学療法士はいろいろな場面において、職域を超えた活躍を求められると思います。そのためにも、積極的な情報収集の場をもち、ぜひ会員間でさまざまな分野の情報を共有していければと思います。



平成22年度学術奨励賞の審査結果について

表彰委員会委員長 石川 玲

平成 22 年度、表彰委員会では下記の 2 名の会員を学術奨励賞の候補者として理事会に推薦し、理事会での承認を得て受賞が決定したのでご報告致します。

【学術奨励賞】

1. 受賞者氏名

前田 千尋 (国立病院機構青森病院)

松本 知也 (国立病院機構青森病院 現：国立病院機構あきた病院)

2. 受賞理由

【前田 千尋】

過去 6 年間、一貫して筋強直性ジストロフィー研究に携わり、筋強直性ジストロフィー患者の上肢の機能障害の特徴と更衣動作能力との関係、手のミオトニア現象を定量的に評価する方法を確立した。これらの取り組みを通して、研究論文 2 編、学会発表 4 件（全国学会 3 題、国際学会 1 題）、厚生労働省筋ジストロフィー研究班での研究発表 5 題の業績を有していることが、学術奨励賞に値すると判断された。

【松本 知也】

過去 4 年間、前田会員と共に筋強直性ジストロフィーにみられる手のミオトニア現象を定量的に評価する方法の研究に取り組み、その方法を確立した。松本氏は工学の専門知識を活かして研究の中心的役割を担い、研究成果は厚生労働省筋ジストロフィー研究のリハビリテーション班だけでなく、医師の研究班においても高い評価を得、さらに研究成果をイタリアで開催された国際神経学会でも筆頭演者として発表している。これらの取り組みを通して、国際誌への英語論文は投稿中であるものの、全国学会と国際学会での発表 2 題、厚生労働省筋ジストロフィー研究班での研究発表 5 題の業績を有していることが、学術奨励賞に値すると判断された。

平成 21 ～ 22 年度の表彰委員会委員は下記の 5 名です。

- 石川 玲 (弘前大学大学院保健学研究科)
- 藤田智香子 (青森県立保健大学健康科学部)
- 櫻庭 満 (五所川原市立西北中央病院)
- 板井 英樹 (国民健康保険おいらせ病院)
- 二本柳 洋 (三沢市立三沢病院、学術局長)

学術奨励賞受賞に寄せて

国立病院機構青森病院 前田 千尋

この度は学術奨励賞という栄誉ある賞を頂き、大変光栄に感じております。当たり前ですが私一人の力で出来るものではなく、色々な面からサポートして下さっている色々な方々のご協力があったからこそものに他なりません。特に、なかなか方法論が定まらず、何度もマイナーチェンジした同ような測定につき合わせてしまった患者様方なくしてこの研究は成り立ちません。今までは私のとっておきの笑顔でどうかごまかしてきましたが、そろそろそれも年齢的に厳しくなって参りましたので、方法を定めてマニュアル化するところまでなんとかこぎつけました。しかし、まだまだ発展途上、調べてみたいこともいくつかありますので、この賞を励みに今後も継続していきたいと考えています。

ふとした思いつきから始めたために至らないことばかりで、これまでたくさんの方々にご助けいただきました。この場を借りてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

今回このような荣誉ある賞を頂いて、大変光栄に思っております。これもひとえにまわりの皆様のご支援あつてのものだと感じております。**Myotonic dystrophy** は様々な合併症を伴う退行性の進行性疾患であり、リハビリテーションの場において確固たる評価指標がないのが現状です。しかしながら、**myotonia** 現象は **Myotonic dystrophy** 患者に共通の症状であり、その評価をもって病態の把握、リハビリテーションへの還元が可能になればということで研究活動を行って参りました。まだ、改善すべきところは多々あると思われますので、私も微力ながら今後もその一端に貢献していければと思っております。私事ではありますが、4月から秋田での勤務になりました。今後も、青森で勉強させて頂いたことを礎に、なお一層の精進を重ねてまいります。



全国訪問リハ研究会印象記

協立訪問看護ステーション 柴田 智文

5月14日～15日と第17回全国訪問リハ研究会に参加してきました。場所は東京お台場のタイム24、全国から約400人近い参加でした。内容は演題発表45題、特別講演3題、シンポジウムでした。

演題発表は訪問リハを知ってもらおう取り組み、ケアマネと連携して早期に介入することでスムーズな家庭復帰をしたケース、訪問での高次脳機能障害に対するアプローチの症例発表がありました。リハビリスタッフが多く、ケアマネと密な連携ができている事業所の発表が多かったです。特別講演として「訪問リハビリテーションのあるべき姿」として、石川先生の講演がありました。要旨としては以下の通りです。

- ①リハ医療の概念は多職種の間わり、チームアプローチである。訪問リハだけを見ると違和感がある。診療報酬上はPT、OT、STだけになっている。
- ②地域連携バスは連携としては紙ベースで行われているだけ。実質的には連携はまだまだされていない。
- ③リハビリテーションが扱う守備範囲は広がった。
- ④介護保険でのリハの量はまだまだ不足しており、今までの10年を見ると医療保険・介護保険ともに変化が激しかった。これからは医療保険でのリハは変化なく、介護保険でのリハに。
- ⑤訪問リハのあるべき姿として、チームアプローチを重視し他職種とのコミュニケーションを行っていく。

講演の中で特に訪問リハの場合は他職種とのコミュニケーションと連携にどれだけ汗をかけるかと言っていました。自分の中でどれだけ意識的に他職種と連携をとっているか、また自分の仕事を他職種に理解をしてもらおう努力をしているかと振り返り、気づくチャンスになりました。

懇親会では長年行政などで地域リハに関わった年配の **PT**、訪問と通所のセンターマネージャーとして勉強してきた若い **OT**、札幌で地域の連絡会の代表をしている若い **PT** と懇親してきました。

全国的にはまだまだ訪問リハが知られていないところやサービス事業所が少ないこと、訪問リハ自体標準化されていなく指導者が少ないこと、これからの分野であることが実感できました。在宅でのリハは病院リハとは違う面白さがあると一応にみなさんが話をしていました。

最後に情報ですが、特別講演の中で大会長の伊藤隆夫氏が座長から質問を受けて答えたことと石川先生の講演の中での話をまとめると、訪問リハステーション設立は今の段階で何とも言えないようです。もし設立をしても単独型は無理なようで、併設型のようです。

新入会員紹介

＝青森支部＝

あおもり協立病院 藤田 諒

あおもり協立病院リハビリテーション科の藤田諒です。弘前大学医学部保健学科理学療法専攻卒業です。中学より青森で暮らしてきましたが、この度無事第三の故郷で **PT** として働けることとなりました。**PT** としてだけでなく一人の人間として立派に成長していきたいと考えておりますので、至らぬ点もあるとは思いますが、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。叩けば木端微塵に砕けるので、ご指導はどうかやさしくお願い致します。

あおもり協立病院 杉山 知美

あおもり協立病院リハビリテーション科の杉山です。仙台リハビリテーション専門学校理学療法科卒業しました。就職は地元と決めていたので、青森で就職出来て嬉しく思っています。周りの方に甘えながら **21** 年間過ごしてきたため、なかなか社会人としての自覚が足りない点もありますが、これからは関わる人たちのために自分が出来る精一杯のことが出来ればと思っています。よろしくお願ひします。

青森慈恵会病院 小泉 麻衣子

所属：青森慈恵会病院，出身地：青森県青森市，出身校：日本リハビリテーション専門学校（東京都高田馬場），趣味：お酒（主にビール）を飲むこと、漫画を読むこと、スキューバダイビング，抱負：まだまだ知識が足りず力不足だと感じる事ばかりですが、患者様との会話や日々の変化を傍で感じることができとても充実した毎日です。患者様の訴えはもちろん、身体の小さな変化や表情の変化など、色々なサインを見逃さず気付ける理学療法士を目指してこれから精一杯がんばりたいと思います。

青森慈恵会病院 田中 翔

青森慈恵会病院リハビリテーション部所属の田中翔です。出身校は東北メディカル学院で趣味はマジック・ビリヤード・麻雀・カラオケなど多趣味です。スポーツも野球を始めどんなスポーツでも行います。理学療法士として一年目であり、日々勉強の毎日ではありますが、様々な分野で活躍することができ、患者様の多種多様なニーズに柔軟に対応できる理学療法士となれるように、日々の業務の中からだけでなく、講習会などにも積極的に参加し、常に向上心を持ち努力していきたいと思っております。また、患者様を敬う心を忘れず“人の痛みをわかる理学療法士”として一人でも多くの患者様の支えになっていきたいと思っております。

青森慈恵会病院 高橋 浩

社会人を経て、宮城県の仙台医療技術専門学校へ入学、今年卒業し **7** 年振りに地元の青森市に戻って参りました。**4** 月から働き始め、日々患者様と向き合う中で自分の知識の足りなさや、この仕事の難しさを痛感させられています。**30** 歳の新人という事で、見た目だけはベテランの域に達していますが、気持ちだけは **20** 歳位のつもりで日々自身の研鑽に励み、少しでも患者様のお役に立てる様に努力していきたいと考えています。楽器演奏が好きなので、お休みの日にはギターやドラムなどを演奏し息抜きをしています。

青森慈恵会病院 佐藤 礼望

出身校：仙台医療技術専門学校，出身：青森県青森市，趣味：車・バイク・ダーツ・ボーリング・BBQ・麻雀です。抱負：理学療法士として働き始めたばかりなので，具体的にこの分野に進みたいという希望は，正直まだありませんが，いつも笑顔で謙虚な姿勢で取り組もうと心がけています。日々，患者様・先輩方から学ぶことがたくさんあり，勉強の毎日です。この先も向上心を忘れずに頑張っていきます。自分の持ち味は何かと考えたら，今はまだ笑顔・大きな声くらいしかないので，理学療法士としての知識が加味できたらなと考えています。

青森慈恵会病院 中村 恵美

出身校：東北文化学園大学（仙台市），出身：青森県青森市，趣味：一人カラオケ，買い物，フットサル，友達とワイワイ食べ歩き・飲み歩きすること，旅行，抱負：患者様一人ひとりと向き合い，患者様の生活にどう関わっていけるか考え・お役にたてるような **PT** になりたいです。そのためにも，まずは理学療法の土台となる解剖・生理・運動学などの基礎知識について自己学習を深め，機会があれば勉強会にも積極的に参加して知識・技術を身につけたいです。慈恵会病院の患者様・先輩方から多くを学び，吸収して，元気な **PT** として理学療法を提供していきたいです。

青森慈恵会病院 佐藤 一真

所属：青森慈恵会病院，出身地：むつ市，出身校：岩手リハビリテーション学院，趣味：カラオケ，お酒，走ること 抱負：何もかもが初めてで毎日新鮮な気持ちで仕事に取り組んでいます。日々の業務以外にも病院の機能や他部門との連携など覚えることがたくさんあり，大変ですが，早く現場の雰囲気慣れて先輩方の負担を少なくできるように頑張りたいです。また，患者さんによりよい治療を提供できるように日々努力していきたいと思ひます。

青森慈恵会病院 浪岡 紀子

出身地：青森県青森市，出身校：東北メディカル学院，趣味：飲み会，ギター演奏（アコースティックギター，エレキギターどちらも好きです），抱負：4月から勤務し2カ月経過しましたが，まだまだ慣れず悩むことばかりです。日々先輩方からご指導・アドバイスを頂き，また自分でも文献を調べる等してより良い理学療法が提供できるよう奮闘しています。まだまだ不十分ですが今後も常に勉強し，患者様により良い理学療法を提供できるよう努力していきたいと思ひます。

青森敬仁会病院 三上 雄大

青森県士会の会員の皆さま，お疲れ様です。東北メディカル学院出身の三上雄大と申します。この度は青森敬仁会病院に就職させて頂きました。出身地は青森県五所川原市です。新卒でまだまだ社会経験が浅い私ですが，先輩の指導のもと頑張っていきたいと考えております。趣味は味噌汁を作ることです。また青森敬仁会病院（AKB）の名に恥じぬよう，まごころをもってこころ伝わる医療をしていけたらよいなと考えております。ありがとうございました。

芙蓉会村上病院 林 真子

勤務先は芙蓉会村上病院です。出身地は青森市です。以前は新潟県や千葉県に住んでいたこともあります。社会人経験を経てから，青森県立保健大学に入学し，今年無事卒業することができました。これからは，患者様の笑顔をたくさん引き出すことのできる理学療法士になりたいと思っています。そのために，知識や技術を身につけ，それぞれの患者様に適したケアを提供できるよう一生懸命頑張っていきたいと思っています。ご指導の程宜しく願いいたします。

芙蓉会村上病院 柿崎 彩加

みなさん，はじめまして。柿崎彩加と申します。青森市出身で，青い鳥保育園，油川小学校，油川中学校，青森東高校を経て，この春，青森県立保健大学を無事卒業し，理学療法士として村上病院で働かせて頂くことになりました。ちなみに誕生日はハンカチ王子と同じ1988年生まれでハニカミ王子と同じ9月17日です。私もこの2人のように，たくさんの方に夢と希望を与えられるような理学療法士を目指して頑張ります。よろしく願いします。

芙蓉会村上病院 大西 江理奈

はじめまして。東北メディカル学院を卒業し，この春，晴れて理学療法士になりました大西江理奈です。出身は八戸で現在は芙蓉会村上病院に勤務しているため青森市在住です。

私は，アンパンマンのように患者様に呼ばれたらすぐかけつけ，患者様の役に立ち，家族の方もみんなが笑顔になれるような **PT** になりたいと思ひます。しかし，今はまだわからないことだらけで目標にはまだまだ程遠い状態です。先輩方や仲間の力を借りながら，どんどん成長し，元氣と勇気を分けてあげられるような **PT** を目指し努力していきます。これからよろしく願いします。

芙蓉会村上病院 中村 咲予

芙蓉会村上病院に勤務している中村咲予です。出身は青森県の八戸市で東北メディカル学院へ入学し、今年の春になんとか卒業することが出来ました。理学療法士として働き始めて約2ヶ月経ち、職場には慣れ、科長に「まんま」と言う素晴らしいあだ名まで与えて頂きました。仕事ではまだまだ先輩達に頼ってばかりなのでもっと勉強して患者様の支えになれる様に努力したいと思います。皆様には勉強会や講習会で会う機会があると思うのでよろしく願います。ちなみにまんまとは呼ばないでください。

国立病院機構青森病院 石山 大樹

はじめまして、石山大樹と申します。今年3月に青森県立保健大学を卒業し、4月から国立病院機構青森病院に勤務しております。出身は弘前ですが、実家が山の方なので青森病院への通勤時間はなかなかのものです。趣味は野球で、小学校からずっと続けています。白球を無邪気に追う少年の心をいつまでも持ち続けたいと思います。まだまだ業務には慣れませんが、患者様のために何が出来るか常に考えながら、患者様の生活や人生を考慮したリハビリテーションを心がけていきたいです。よろしく願います。

ひがし整形外科リハビリテーションクリニック 金濱 歩

今年度より青森市のひがし整形外科リハビリテーションクリニックに勤務しております金濱歩です。今春、茨城県のつくば国際大学を卒業しました。出身地は岩手県盛岡市です。念願の整形外科に携わる理学療法士となることが出来ました。就職2カ月にして右第1指MP関節を脱臼してしまいました。休日には青森の美味しいものを探し求めてドライブしています。エサを与えてくれると簡単になつきます。よろしく願います。

青森県立中央病院 白戸 奈々子

はじめまして。青森県立中央病院の白戸菜々子です。出身は青森県立保健大学です。小学校から大学まですべて青森市内で過ごしました。趣味は犬の写真を撮ることです♪家では雑種とチワワの2匹飼っています。ぬいぐるみを犬に乗せたり、変な顔を撮って遊んでます。性格は明るく・人見知りしない方だと思います。今は治療中にどうするべきか悩むことが多いので、的確な判断が出来るよう勉強していきたいです。よろしく願います。

＝津軽支部＝

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 鈴木 遼

はじめまして。弘前脳卒中リハビリテーションセンターに勤務しております鈴木遼です。出身校は宮城県仙台市にある東北文化学園大学です。出身は太宰治で有名(?)な五所川原市(金木町)です。現在は実家から一時間かけて通勤しています。仕事にも慣れていない部分もあり、いつも帰りは遅くなっています。朝がとて弱くて1日の中で起きることが一番大変だと思っています。休日は目覚ましなしで起きることに幸せを感じています。趣味は、お酒とスポーツです。中でもテニスが好きです。素人ですが大学時代にはまったスポーツで家族でもテニスをよくやっているのでは是非誘ってください。まだまだ、仕事で分からない点・不十分な点が色々ありますがこれからも日々勉強に励んで頑張っていきたいです。そして、指導して下さっている先輩スタッフや同じ病棟勤務の先輩方にはご迷惑おかけするかもしれませんが、理学療法士としていち早く成長していけるように努力していきます。みなさんどうぞよろしく願います。

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 鳴海 正紀

出身校は五戸町にあります東北メディカル学院です。五所川原市出身で、実家から通勤しています。実家は大変快適ですが、通勤が大変なため近々引っ越そうかと考えています。休日は自宅でごろごろしています。仕事はまだ至らない部分もありますが、先輩方に指導をいただきながらなんとかこなしています。今後は理学療法士として、さらに成長するために頑張っていきます。よろしく願います。

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 熊野 宏希

はじめまして。弘前脳卒中・リハビリテーションセンターに勤務している熊野宏希です。出身は八戸市の海のそばで、出身校は東北メディカル学院です。趣味はサッカー・温泉めぐり・釣りです。今年には日本海へ行ってみたいと思っています。今は先輩方に御指導いただきながら日々多くの事を吸収させて頂いています。これからも社会人として、理学療法士として一歩一歩前に進めるよう、毎日の積み重ねを大切にしていきたいです。今後とも宜しく願います。

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 原子 由

はじめまして。この春から弘前脳卒中・リハビリテーションセンター勤務になりました原子由と申します。いまだに勤務先名を噛んでしまうのが悩みです。出身地は大鰐町で、出身校は東北メディカル学院です。慣れない車通勤が始まり、家と仕事をやっとの思いで往復しています。病棟新人 1 人ということで、先輩方から温かく丁寧なご指導をいただき、恵まれた環境であることを日々感じています。また、実習でお世話になった病院に就職できたことも嬉しく思います。未熟な点が多い私にとって患者様と接する毎日は日々勉強です。これからも努力し、1 人でも多くの患者様に笑顔を与えることができたいと思っています。今後ともよろしくお願ひ致します。

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 小向 雅哉

はじめまして。弘前脳卒中・リハビリテーションセンターに勤務しています小向雅哉です。出身校は、五戸町にあります東北メディカル学院です。おいらせ町出身で、今は初めて一人暮らしをしています。仕事だけでなく、家事や色々な手続きにも苦労している毎日です。休日は車か徒歩で散策しています。仕事はまだ不安が多いですが、先輩方に指導していただきながら、日々勉強しています。理学療法士として成長していけるよう頑張っていきます。よろしくお願ひ致します。

健生病院 有原 裕貴

こんにちは。健生病院で嘱託職員として勤務している、有原裕貴です。弘前大学出身です。地元は岩手県岩泉町という田舎町です。趣味はバレーボールと釣りですが、今年からは程々にしています。今年で弘前 5 年目となり、地元よりもこちらの環境に馴染んできています。岩手山も良いですが、岩木山の方がしっくりきます。実習先で県立中央病院、ときわ会病院、西北中央病院の先生方にお世話になりました。今の自分があるのは先生方、担当させて頂いた患者さんのお陰であり、感謝しています。先生方や患者さん、もちろん自分の為にも、程良い緊張感を持ってこれから学んでいきたいと思っています。これからも宜しくお願ひ致します。

健生病院 原田 章央

はじめまして、健生病院の原田章央です。私は五所川原市出身で、出身校は五戸町にある東北メディカル学院です。就職してから約 2 ヶ月間たちましたが、職場の雰囲気にもなれ、充実した日々を送っています。まだまだわからないことがたくさんあり、戸惑うこともあります。一つ一つ確実に吸収していけるように頑張っていきたいと思っています。よろしくお願ひ致します。

健生病院 安藤 道晴

はじめまして。健生病院で嘱託職員として勤務させて頂いておられます安藤道晴です。また、弘前大学の大学院にも通わせていただいております。出身地は三重県で、出身校は弘前大学です。今年で青森は 5 年目になりますが、まだまだ観光に行っていないところが多くあるので、青森の良さをもっともっと知っていきたいと考えております。また、理学療法についても分からないことが多くあるので学んでいきたいと考えております。非常に足りないものですが、頑張っていきたいと考えております。なにとぞ、よろしくお願ひいたします。

健生病院 坂本 昌也

皆さん、はじめまして！この度無事に？夢の理学療法士になることができました坂本昌也です。私は生まれも育ちも弘前市ですが、高校を卒業して、仙台市にある東北文化学園大学で憧れのキャンパスライフを送っていました。体は小さいですが、持ち前の『元気』と『明るさ』で患者さんに『あなたにリハビリしてもらってよかった』と言われるようなセラピストになりたいと思います。高校野球で培った『根性』と『努力』を活かして一生懸命頑張ります！！研修などで見かけた際には、気軽に声をかけてください♪どうぞ、こんな私ですが、よろしくお願ひします！！

健生病院 佐藤 龍大

こんにちは。健生病院で理学療法士として働いています佐藤龍大です。東北文化学園大学を卒業し、現在は地元の大鰐町から病院へ通っています。趣味は弾いたり、滑ったり、乗ったり、登ったり、読んだり、作ったり、いろいろしています。好きな物はカレー、メロン味、バナナ味、固いグミです。健生病院に働きはじめて早 2 ヶ月が経ちました。毎日の業務には慣れてきましたが、まだまだわからないことが多いため先輩方に迷惑をかけてばかりです。1 日でも早く立派な理学療法士になれるように日々精進していきたいと思っています。

健生病院 須々田 隆史

出身地は平川市で、出身校は仙台リハビリテーション専門学校です。趣味はサッカー観戦、フットサル、麻雀で現在健生病院のスタッフ内でフットサルを始め、楽しく充実した生活を送っています。院内では回復期病棟を担当となりましたが、分からない事が多く、先輩方からアドバイスを頂くことで日々勉強になります。まだまだ未熟者ですが精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。

鳴海病院 柳沢 晴久

出身校は東北メディカル学院、出身地は秋田県鹿角市です。趣味はギター、ベースの演奏です。理学療法士として、また社会人としても至らない点も多々ありますが毎日の仕事の中で知識・技術を少しずつ蓄え、スタッフや患者様から信頼される人材を目指して頑張ります。

弘前市立病院 對馬 史織

出身地は弘前市で、出身校は弘前大学です。小学から高校までバスケットボール部でしたが、大学4年間で体がなまってしまったのでまた始めたいと思っています。働き始めて2か月が経ち、自分の未熟さを痛感していますが、楽しい先生方に囲まれ充実した日々を送っております。これから患者様にとって最良の理学療法を提供できるよう、努力を惜しまず、常に向上心を持って成長していきたいと思っております。

＝八戸支部＝

メディカルコート八戸西病院 越後 譲

東北メディカル学院を卒業し、今年の4月からメディカルコート八戸西病院に勤務しています越後譲（えちごゆづる）と申します。身体を動かすことが好きで、早朝4時より朝野球にて「心・技・体」を鍛え、将来は高倉健さんのような思慮深く、謙虚さを兼ね揃えた人間を目指しています。1年目は毎日回み、その度に先輩方に助けられ、改めて人と人とのつながりが大切であると実感しています。そのため、70%の自信と30%の不安を胸に持ち続け、辛い時にはニヤッと笑っていつも前に進んで行きたいと思ひます。今後、様々な研修会や勉強会などで皆様方と交流を深め、つながり・信頼関係を築き深めていきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。

メディカルコート八戸西病院 岩泉 享佑

メディカルコート八戸西病院に勤務しております岩泉享佑と申します。出身は岩手県久慈市で、出身校は北海道文教大学です。趣味は映画鑑賞で、様々なジャンルの映画を観ます。特技は手話と、ルービックキューブを歌のワンフレーズを淡々と歌いながら3分以内に完成出来ます。まだまだ未熟ですが、患者様や先輩方、他職種の方々からたくさんのお話を学び、一人前の理学療法士になれるように毎日努力して頑張っています。どうぞよろしくお願ひします。

メディカルコート八戸西病院 今村 奏一朗

はじめまして。メディカルコート八戸西病院に勤めております今村奏一朗と申します。出身地は三沢です。ほっきがおいしいです。趣味はバスケットボール・筋力トレーニングです。八戸西病院で働き2か月がたちましたが、改めて基礎知識の乏しさに痛感しています。今後は少しでも患者様の利益になれるよう、知識・技術を先輩・同期の方から多く吸収し患者様に誠意を持って接していきたいと考えています。

メディカルコート八戸西病院 清野 文香

はじめまして。4月から八戸西病院にて勤務となりました清野文香と申します。出身校は北海道文教大学です。が、地元はむつ市です。趣味は何かを作る事で、料理・お菓子・インテリア・言葉・手芸など何でも作ります。言葉は作れても国語はものすごく苦手です。仕事では新しい言葉を発しないよう気をつけている最中です。今後も患者さん方のために、ホスピタル精神を持って日々精進して参ります。よろしくお願ひします。

八戸在宅クリニック 藤嶋 智子

八戸在宅クリニック所属の藤嶋智子です。今年の4月から研修の為にメディカルコート八戸西病院で勤務しています。出身地は八戸市で、出身校は東北メディカル学院です。趣味は映画鑑賞で、映画館でポップコーンを食べながら観ています。よくライブにも行っており、ストレス発散しています。理学療法士として早2カ月が過ぎました。至らない点が多い私ですが、患者様から信頼していただける理学療法士になるために先輩方に指導して頂きながら頑張りたいと思います。

八戸平和病院 遠藤 佑介

私は今年度から八戸平和病院で勤務しております。遠藤佑介です。おいらせ町出身で、今年の3月に東北メディカル学院を卒業しました。趣味はスポーツとショッピングです。学生時代の不摂生な生活リズムからメタボ気味ですが、患者様が抱くビジョンに応えるべく、日々、悩み汗をかき理学療法をしています。自己に慢心することなく、現在の気持ちを維持し、業務以外にも研修会やスポーツトレーナー活動等を通じて自己研鑽をしていきたいと思っています。

南部病院 林 香緒里

4月から社会医療法人 博進会 南部病院に勤めている林香緒里です。出身校は東北メディカル学院です。八戸出身ですが、小・中・高・専門と学校が遠くなっていき、今ではさらに遠く25kmを居眠り運転しそうになりながら通勤しています。趣味はバスケットで、ナイターのチームに参加して体力維持に努めています。今は患者様に接しながら、もっと勉強して頼られるPTにならなければと実感しているところです。精進あるのみ！頑張ります。

総合リハビリ美保野病院 小泉 沙貴

今年4月より総合リハビリ美保野病院に勤務している小泉沙貴です。弘前大学を卒業し、地元の八戸市に戻ってきました。趣味はスポーツ、特にテニスが好きで、現在も院内のテニスクラブに所属し、毎週汗を流しています。現在は回復期病棟に勤務していますが、まだまだ不慣れな部分が多く、学ぶことの多い毎日です。幅広い視野を持った理学療法士になれるよう、精進していきたいと思っていますので、よろしくお願い致します。

総合リハビリ美保野病院 大下 麻衣子

はじめまして。今年の春から総合リハビリ美保野病院に勤務している大下麻衣子です。出身は青森県立保健大学です。優しい先輩方に助けられながら、なんとか日々の業務をこなしています。実家が少し遠く片道30分の通勤なので、夜更かしが基本だった私ですが、早寝が習慣になりつつあります。社会人として、理学療法士としてこれから頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

総合リハビリ美保野病院 大沢 竜太郎

八戸市にある総合リハビリ美保野病院に勤務している、大沢竜太郎です。平成元年に倉石村で生まれました。出身学校は仙台医療技術専門学校で、今年の3月に卒業しました。趣味は小・中・高とやってきたバスケットで、今でもたまにやっています。入社して2ヶ月が過ぎ、初めての経験がいっぱいで充実しています。勉強会や講習に参加し知識・技術を身につけ、患者さんやチームから信頼される理学療法士になります。

総合リハビリ美保野病院 中村 幸矩

総合リハビリ美保野病院勤務の中村幸矩です。昭和63年5月2日生まれで、今年23歳になりました。東北文化学園大学卒業です。中学生からテニスを始め今も続けています。今年は地震の影響で卒業式が行えず悲しい思いをしました。理学療法協会の勉強会等で皆さんに再会するのが楽しみです。今後も理学療法士として生きて行くわけですが、まずは人間性の成長を第一の目標として臨床経験を積んでいきたいです。

介護老人保健施設はくじゅ 貝塚 南奈子

はじめまして。八戸市の介護老人保健施設はくじゅリハビリテーション科に所属している貝塚南奈子です。青森県南部育ち、出身校は東北メディカル学院で、壮大な緑に囲まれ、養鶏所とまきば温泉の香りに包まれながら穏やかに学生時代を過ごしていました。性格としては基本的にマイペースでボーっとしていることが多いのですが、やるときはやる女です。社会人としても理学療法士としてもスタートしたばかりですが、良い環境、良き先輩方に囲まれ日々悩みつつも毎日楽しくお仕事しています。これからも、癒し系理学療法士をモットーに頑張っていきたいと思っています。

なかざわスポーツクリニック 村越 泰我

このたび医療法人なかざわスポーツクリニックに就職させていただいた、村越泰我です。出身校は仙台医療技術専門学校です。八戸は地元であり、住み慣れた街でもあります。趣味はスポーツで、特に野球やサッカーが好きです。就職して約 2 ヶ月たった今、まだ慣れないこともあります。しっかりと学び、少しでも地域に貢献できるように精進してまいりたいと思います。

なかざわスポーツクリニック 三浦 浩太

はじめまして。今年からなかざわスポーツクリニックに勤務しております三浦浩太と申します。帝京大学福岡医療技術学部を卒業しました。出身は北海道の函館市です。小学校からずっとバスケットをしています。好きな食べ物はりんごです。理学療法士と

して少しでも患者様の役に立てるように日々勉強を積み重ね、頑張りたいと思います。至らない点が多々あるかとは思いますが、ご指導の程よろしくお願い致します。

五戸総合病院 鳴海 玲香

はじめまして。4 月から五戸総合病院で勤務しております、鳴海玲香と申します。出身は東北町で、今年の 3 月に東北メディカル学院を卒業しました。職場ではスタッフや地域の方々のおかげで、楽しく仕事をさせていただいております。学生時代からお世話になっている五戸町の方々に貢献していけるよう、これから日々努力していきたいです。社会人としても、理学療法士としても、未熟で至らない点が多々ありますが、ご指導の程よろしくお願いたします。

＝上十三支部＝

公立七戸病院 伊藤 亮太

はじめまして、公立七戸病院に勤務している伊藤亮太です。出身校は東北メディカル学院です。出身地は絵馬の町「七戸町」です。趣味はドラム演奏で、特技は顔を赤くすることです。4 月から理学療法士として働きはじめて、職場の雰囲気にも次第に慣れてきましたが、まだまだ緊張している毎日です。また、日々疑問を持ち始め、不安も募るばかりで、知識・技術不足を痛感しています。今後は自分の進む専門分野を見つけ、少しでも患者様に適した理学療法を提供できるように精進して行きたいです。宜しくお願いします。

公立野辺地病院 千葉 綾香

はじめまして。4 月から公立野辺地病院に勤務している千葉綾香と申します。出身は七戸町(旧天間林村)で、出身校は青森県立保健大学です。青森市に 4 年間いたため、実家に戻ってきてからも南部弁の中に時折津軽弁を混ぜて会話してしまいます。業務のほうは、就職してから 3 カ月が経とうとしています。日々、自分の知識・技術不足や要領の悪さを実感しています。少しずつでも成長できるように頑張りますので、皆様、ご指導のほどよろしくお願いたします。

＝下北支部＝

むつりハビリテーション病院 北島 慶彦

はじめまして、むつりハビリテーション病院の北島慶彦です。出身校は仙台医健専門学校です。むつりハビリテーション病院では実習で 8 週間勉強させていただき、その際に職場の雰囲気がとても良く、また、回復期の病院で働いてみたいと考えていたので、実際にこの病院に就職することができて大変幸運だと思っています。まだ右も左も分からず混乱しながらの毎日を送っていますが、一日でも早く下北の医療に貢献しながら自分も成長し、いずれはむつで一番になりたいと考えています。最近ハマっていることはダイエットです。目標は震災中の断食で極限まで絞られた身体を取り戻すことです。研修等でお会いした際には皆様ご指導の程宜しくお願いします。

むつ総合病院 手間本 真

4 月から、むつ総合病院リハビリテーション科で勤務しております、手間本真と申します。出身はむつ市です。出身校は、今 6 億円事件で有名な東京都立川市にある関東リハビリテーション専門学校です。趣味は身体を動かすことです。とくにスノーボード・サーフィンが大好きです。学生時代は、関東地方のグレンデ・海を巡っていましたが、今年は、県内の山・海を中心に巡りたいと思っています。理学療法士としての目標は、患者様によりよい理学療法を提供できるよう、多くの研修会・学会に参加し、己の知識・技術を磨く 1 年間にしたいです。また、急性期病院でのリハビリテーションに携わるため、手術の知識や点滴・各種ラインについても理解し、安全かつ包括的なリハビリテーションを行えるよう頑張ります。

第1回青森県理学療法士会研修会・新人ガイダンス および新人歓迎会に参加して

弘前市立病院 対馬 史織

平成 23 年 4 月 23, 24 日に東北メディカル学院にて行われた青森県理学療法士会研修会および新人ガイダンスに参加させていただきました。青森県士会主催の研修会への参加は初めてということもあり、期待と不安を胸に臨みました。

ガイダンスではまず、理学療法士協会の組織や生涯学習システムについてわかりやすく説明していただき、理学療法士の専門性を追求し自己研鑽していくことの重要性について学びました。その後も様々な題目の講義を受け、これから理学療法士として働く上で必要な知識や制度について学び、これまで曖昧であった部分を再確認することができました。また、研修会では東日本大震災の被災地へ派遣された先生のご報告も聞かせていただき、理学療法士もリハビリという枠を超えて医療従事者として社会の中での役割を果たさなければならないということを学びました。

その後、行われた新人歓迎会では、先生方がとても和やかな雰囲気迎え入れてくださったおかげで緊張もほぐれ、青森県の理学療法を取り巻く現状や今後の展望についてのお話や思いを聞くことができました。また、普段あまり顔を合わせることでできない他病院の新入会員とも同じ時間を共有でき、とても貴重な時間となりました。

今回経験した一連の研修会・新人ガイダンスおよび新人歓迎会では、学生とは全く違う社会人、そして医療従事者としての責任の重さを痛感し、理学療法士として社会にどのように貢献していくかを改めて考えさせられるとても良い機会となりました。今後、様々な場面でお世話になるかと思いますが、よろしく願いいたします。



支部活動報告

＝西北五支部＝ ＜第5回西北五支部 特別研修会のご案内＞

第5回青森県理学療法士会西北五支部特別研修会を下記の通り計画しております。

今回は、小山貴之先生による『クリニカルリーズニングと研究手法（仮）』というテーマとなっております。アスレティックリハビリテーションといった分野でスポーツ外傷、障害予防についての研究や、アスレティックトレーナーとしても活躍されている先生の講演です。多方面での研究や経験から、臨床に生かす研究方法について大変興味深いお話を伺えると思います。現時点では、大まかな内容でのお知らせとなりますが、詳細が決まり次第、ホームページへ掲載いたしますのでご確認頂き、より多くの皆様の参加を期待しております。

日 時：平成**23**年**10**月**1**日（仮）

14：30～ 受付

15：00～ 研修会開始

場 所：立佞武多の館

テーマ：『クリニカルリーズニングと研究手法』（仮）

講 師：小山貴之先生（日本大学文理学部体育学科 専任講師）

懇親会：立佞武多の館 展望ラウンジ『春楡』

参加希望の方は事前に申し込みが必要となりますので、希望される方は**9月22日**までに連絡をお願いいたします。

【問い合わせ・連絡先】

白生会胃腸病院 リハビリテーション科 外崎和朋

TEL **0173-34-6111** FAX **0173-34-6114**

E-mail hakuseikaireha@yahoo.co.jp

＝上十三支部＝ ＜平成23年度 上十三支部総会報告＞

上十三支部長 二本柳 洋

支部活動も**5**年目に入り、当地域でも会員数の増加に伴い若い会員の占める割合が多くなってきています。今後は若手の会員が中心となり、支部活動ならびに県士会活動を担っていけるよう、支部長として会員の方々と協力し基盤を作っていきたいと思っております。

日時：平成**23**年**5**月**20**日（金） **18：00**～

場所：十和田市立中央病院

案件：1) 平成**22**年度上十三支部活動報告

2) 平成**22**年度上十三支部決算・監査報告

3) 平成**23**年度上十三支部事業計画について

4) 平成**23**年度上十三支部予算案について

5) 役員体制について

支部長 : 二本柳 洋 (三沢市立三沢病院)
副支部長 : 二宮 高志 (老健とわだ)
事務局長 : 梅村 悠子 (三沢市立三沢病院)
会 計 : 種市 真琴 (三沢市立三沢病院)
学術局長 : 桜田 八重子 (老健ハートランド)
学術委員 : 高村 怜未 (老健とわだ)
 榊 愛 (十和田東病院)
編集委員 : 中里 隼也 (十和田市立中央病院)
監査委員 : 金澤 浩藏 (すみれ内科クリニック)
 菊池 佐知 (老健やすらぎ苑)
福利厚生 : 盛 美幸 (老健みのり苑)

〈平成22年度 青森県理学療法士会上十三支部・
青森県作業療法士会八戸ブロック共催研修会のご案内〉

テーマ : 「脳卒中後遺症者へのマネージメント」 (講義と実技)

講 師 : 佐藤 博志先生 (栃内第二病院 理学療法士, IBITA 基礎講習会インストラクター)

日 時 : 平成 23 年 8 月 28 日 (日) 9 : 00 ~ 12 : 00 受付 8 : 30 ~

会 場 : 十和田市立中央病院 別館 2 階講堂

内 容 : 回復期または維持期の脳卒中患者の病棟生活や在宅生活など生活全体のマネージメントについて講義・実技・デモンストレーションを行う予定です。

受講料 : 500 円

定 員 : 理学療法士, 作業療法士 各 15 名 予定 (先着順)

申込方法 : ①氏名 (フリガナ) ②所属 ③連絡先 (電話・FAX 番号・E-mail アドレス) を記入の上, E-mail または FAX で下記にお申込み下さい。 できるだけ E-mail でお願いします。

申込締切 : 平成 23 年 7 月 29 日 (金)

申込・問合せ先 : 介護老人保健施設ハートランド リハビリテーション科 桜田八重子宛
E-mail heart-reha@sg-heart.or.jp (件名に「研修会申込」と記入お願いします。)

FAX 0176-25-0033 TEL 0176-25-0122

※申込のメールまたは FAX が届き次第, 2 ~ 3 日中に返信致します。

返信が届かない場合は, お手数ですが上記問い合わせ先にご連絡お願い致します。

※服装については, ジャージ等の動きやすい格好の準備をお願い致します。

※新人教育プログラム 理学療法トピックス I or II or III のいずれか 1 つ単位認定致します。

研修会のご案内

平成23年度 青森県理学療法士会主催 特別講習会のご案内（第2報）

学術局研修部長 梅村 孝博

講習会に関する変更または最新情報は、県士会ホームページに随時掲載していきますのでそちらで
ご確認ください。

【テーマ3】

テーマ : 「呼吸理学療法実践セミナー」(予定)

講師 : 岸川 典明氏(愛知医科大学病院 リハビリテーション部 理学療法士)

上村 洋充氏(大阪鉄道病院 リハビリテーション技師長 理学療法士)

開催日時 : 平成23年10月1日(土)～2日(日)

スケジュール : 10月1日(土) 13:00～18:00 (12:30～ 受付)

13:00～14:00 呼吸理学療法の要点<岸川氏>

14:10～16:00 フィジカルアセスメント(実習含む)<岸川, 上村氏>

16:10～18:00 呼吸介助手技(基本手技)の実習 <岸川, 上村氏>

10月2日(日) 9:00～12:30 (8:30～ 受付)

9:00～9:30 吸引関連<岸川氏>

9:30～11:20 呼吸理学療法の治療ポイント

(ポジショニング, モビライゼーション, 呼吸練習, 運動療法)<上村氏>

11:30～12:30 呼吸介助手技の応用<岸川氏>

開催場所 : 東北メディカル学院(予定)

講習会要旨 : 本セミナーは、日々の臨床にて呼吸理学療法を「確実に実践」できるようになることを
目的としています。評価、治療手技については実技を交えて行い、また、各治療をどの
ように展開すればよいのかを事例を紹介しながらポイントを整理します。さらに、法改
正により、吸引操作可能となった今、呼吸理学療法と密接に関係する吸引知識について
も整理して説明します。

定員 : 30名程度 ※事前登録要

受講費 : 3,000円

◎情報交換会

日時 : 10月1日(土) 講習会終了後開催予定

場所 : 八戸市中心街を予定 ※詳細(時間, 場所など)は後日連絡

懇親会費 : 4,000円程度(予定)

申込方法 : 下記の必要事項記入の上、メールもしくはFAXにてお申し込みください。

①講習会名 ②氏名(フリガナ)・性別 ③所属先 ④所属先のTEL・FAX・E-mail

⑤経験年数(○年目) ⑥情報交換会の出欠 ⑦公文書必要の有無

申込先 : 〒039-1522 青森県三戸郡五戸町苗代沢3-6 東北メディカル学院 梅村孝博

TEL 0178-61-0606 FAX 0178-61-0034 E-mail pt.umemura@rinken.ac.jp

※講習会に関するお問い合わせは上記連絡先で受付致します。

申込開始・締切日 : 平成23年5月23日(月)～9月16日(金) 17:00

※受講決定通知及び講習会の詳細につきましては、決定次第、メール等でご連絡します。

※受講者が定員を超えた場合、こちらで各所属病院または支部ごとで人数を調整させていた
だく場合もございますので、ご了承ください。

平成23年度 日本理学療法士協会主催 理学療法士講習会のご案内（第2報）

学術局研修部長 梅村 孝博

平成23年度本土会が担当します協会主催理学療法士講習会（基本編）の開催は2回を予定しております。本講習会（基本編）は、協会の基本方針から原則協会会員歴5年未満が対象となりますが、5年以上の協会会員でも受付けます。ただし、その後の受講申し込み者が定員を超えた場合、5年未満の会員を優先致しますので、ご理解の上、お申し込み下さい。

今後、本講習会に関する変更または最新情報は、県士会ホームページにも随時掲載していきますのでそちらでもご確認下さい。

【講習会1】

- 講習会名 : 下肢関節疾患の理学療法 ～関節運動へのアプローチ～
講師名 : 市橋則明氏（京都大学大学院）、永井聡氏（広瀬整形外科リウマチ科）
対馬栄輝氏（弘前大学大学院）、石田水里氏（鳴海病院）
日時 : 平成23年9月10日（土）～11日（日）
会場 : （学）臨研学舎 東北メディカル学院 1階講堂（予定）
内容 : 下肢関節疾患（主に変形性膝・股関節疾患）の病態運動学から多関節運動連鎖の障害に基づいた理学療法評価、生体力学的見地の姿勢・動作分析へ生かすための基礎知識を解説する。各論として、膝関節疾患、股関節疾患に対する治療の基本的考え方について述べる。
受講費 : 3,000円
定員 : 120名
申込開始日 : 平成23年4月18日（月）
申込締切日 : 平成23年8月19日（金） ※締切日が延長されております。
申込方法 : 下記の必要事項記入の上、メールもしくはFAXにてお申し込みください。
①講習会テーマ ②氏名（フリガナ） ③所属（士会・勤務先・〒・勤務先住所・電話番号）
④経験年数（〇年目）または免許取得年度 ⑤県コード（1～47） ⑥会員番号（5桁）
⑦情報交換会の出欠
申込先 : （学）臨研学舎 東北メディカル学院 梅村 孝博
TEL 0178-61-0606 FAX 0178-61-0034 E-mail umetakapt@yahoo.co.jp
※本土会主催特別講習会の申し込み先アドレスと異なりますのでご注意ください。
その他 : 受講可否及び詳細については、後日メールにてご連絡します。定員を超える場合、締切日前に受付終了とさせて頂く場合もございますので、お早めに申し込み下さい。

【講習会2】

- 講習会名 : 脳解剖学および運動学的思考に基づく脳卒中理学療法の展開
講師名 : 吉尾雅春氏（千里リハビリテーション病院）、阿部浩明氏（広南病院）
日時 : 平成23年11月19日（土）～20日（日）
会場 : （学）臨研学舎 東北メディカル学院 1階講堂（予定）
内容 : 運動療法の実践には解剖学的知識の活用は欠かせない。本講習会では脳解剖学や運動学を整理し、急性期と回復期の脳卒中者に対する理学療法において、それらの知見を評価・治療へ展開する過程を事例紹介を含め教示する。
受講費 : 3,000円
定員 : 100名
申込開始日 : 平成23年4月18日（月）
申込締切日 : 平成23年10月14日（金） ※締切日が延長されております。

申込方法 : 下記の必要事項記入の上、メールもしくはFAXにてお申し込みください。

- ①講習会テーマ ②氏名(フリガナ) ③所属(士会・勤務先・干・勤務先住所・電話番号)
④経験年数(〇年目)または免許取得年度 ⑤県コード(1~47) ⑥会員番号(5桁)
⑦情報交換会の出欠

申込先 : (学)臨研学舎 東北メディカル学院 菊池 修一

TEL 0178-61-0606 FAX 0178-61-0034 E-mail s_kikuchi411@yahoo.co.jp

※申込先の担当者、アドレスが他の講習会と違いますので御注意ください。

その他 : 受講可否及び詳細については、後日メールにてご連絡します。定員を超える場合、締切日前に受付終了とさせて頂く場合もございますので、お早めに申込ください。

各出局通信

【事務局通信】

事務局長 後藤 明教

勤務先異動・改姓・自宅住所変更等により、会員登録に変更が生じた場合は、会員異動届(協会ホームページよりダウンロード可)に必要事項を記入の上、士会事務局まで送付して下さい。また、協会の機関誌が届いていない場合は、士会事務局へお問い合わせ下さい。

会員動向(平成23年4月20日~平成23年6月11日)

＝会員異動＝

新入会員(50名)

新人自己紹介参照

県内異動会員(12名)

相馬美佳子 旧勤務先:あしたばの里黒石

新勤務先:ときわ会病院

林 友貴 旧勤務先:藤仁会工藤医院

新勤務先:青森慈恵会病院

小笠原直也 旧勤務先:弘前メディカルセンター

新勤務先:近江整形外科

川崎 忍 旧勤務先:五戸総合病院

新勤務先:鷹揚郷腎研究所弘前病院

小比類巻昌子 旧勤務先:介護老健ハートランド

新勤務先:訪問看護ステーションえがお

塩沢香菜子 旧勤務先:介護老健ハートランド

新勤務先:訪問看護ステーションえがお

田村 秀子 旧勤務先:なかざわ整形外科

新勤務先:なかざわスポーツクリニック

松本 早苗 旧勤務先:なかざわスポーツクリニック

新勤務先:自宅会員(八戸支部)

柿崎 智子 旧勤務先:老健青森ナーシングライフ

新勤務先:内科おひざまクリニック

米田 良平 旧勤務先:敬仁会病院

新勤務先:じけいかい訪問看護ステーション

三浦 時男 旧勤務先:さとの整形外科クリニック

新勤務先:自宅会員(上十三支部)

君和田留里子 旧勤務先:自宅(青森支部)

新勤務先:芙蓉会村上病院

改姓会員(1名)

神(旧姓 一戸) 亜希子 ときわ会病院

施設名変更(1件)

訪問看護ステーションえがお 十和田市西十二番町 2-27

(敬称略)

【財務部通信】

★ 22 年度会費未納者について★

該当する方は、下記へ振り込みして下さい。

★ 23 年度会費納入について★

新システム構築の都合により、本年分の会費は、**7月27日**に（楽天、ニコス、口座振替）から納入いただきます。

協会経由で、「楽天カード」を申し込まれた場合は、楽天カードからの引き落としとなります。楽天カードの発行お手続きがお済みでなく、ニコスカードをお持ちの場合は、ニコスカードからの引き落としとなります。

ただし、7月の引き落とし時期近くのカード発行となり、カードデータ管理手続きの都合にて引き落としカード（口座）変更が間に合わない場合は、何卒ご容赦ください。

5月下旬までに楽天カードが発行され、お手元に届いた会員は楽天からの引落としとなります。間に合わない会員、楽天カードを申し込んでいない会員は従来の方法となります。施設払いの会員は楽天カードを作っても従来通り施設払いとなります。口座振替の会員が楽天カードを作ると楽天カードからの支払になります。7月27日に協会費が引き落とせなかった会員は協会が時機を見て、協会から再度請求を行います。時期は楽天カード推進の兼ね合いで判断させていただきます。

◎上記以外の方

下記へ振り込みして下さい。

◇士会費 23,000 円の振込先（振込み手数料が発生します。）

みちのく銀行 本店営業部

店番 014 口座番号 2615776

名義名 一般社団法人 青森県理学療法士会 代表理事 伊藤 和夫
名前を ATM にて入力してください。

会費未納者について

該当する方は、協会より発送する通知書を見て振込して下さい。

領収証の発行について

協会事務局より発行可能です。引落後に発行しますので、必要な会員は協会事務局まで会員番号・氏名・金額を御連絡下さい。同施設の会員には、まとめて送付します。

日本理学療法士協会事務局 会費担当：西川 忍まで

協会ホームページ内 お問い合わせ jpta@i.bekkoame.ne.jp より依頼をして下さい。

不明な点は

事務局 財務担当理事

同仁会浪打病院 リハビリテーション科

佐井川 匠秀

E-mail reha@namiuchi-hp.com

(リハ科全体アドレスのため本文中に宛名必要)

TEL 017-741-4341 FAX 017-743-3094

財務担当

国立病院機構弘前病院 リハビリテーション科

佐藤 洋

E-mail ptsato@hirosaki-lan.hosp.go.jp

TEL 0172-32-9968 (直通)

【ニュース編集部通信】

原稿受付に関するお知らせ

◎原稿を依頼された方、もしくは掲載記事をお持ちの方は、下記の各支部担当者に E-mail, FAX のいずれかにて送付して下さい。また、各支部担当者の連絡先をお確かめの上、お問い合わせまたは原稿の送付をお願い致します。

なお、ご不明な点につきましては、編集部長または各支部担当者までお問い合わせ下さい。

次回の原稿締切日：平成23年8月15日（月曜日）

★ホームページにも情報が掲載されております★

青森県士会ホームページアドレス

<http://www.ptaomori.org/>

§ ニュース編集部支部担当者 §

●会員の皆様は、自分の支部のニュース編集部員をご確認の上、原稿をお送り下さい。

青森支部：新山 典子（あおもり協立病院）

〒030-0847 青森市東大野 2-1-10

TEL 017-762-5500 FAX 017-729-3260

E-mail kyouritupt@gmail.com

（リハ科全体のアドレスのため、本文中に宛名が必要）

八戸支部：田中 賢幸（メディカルコート八戸西病院）

〒039-1103 八戸市長苗代字中坪 77

TEL 0178-28-4000 FAX 0178-20-4962

E-mail ptsilver4000@sg-silver.or.jp

（リハ科全体のアドレスのため、本文中に宛名が必要）

津軽支部：神 亜季子（ときわ会病院）

〒038-1216 南津軽郡藤崎町榊字亀田 2-1

TEL 0172-65-3771 FAX 0172-65-3773

E-mail h06gg403@yahoo.co.jp

西北五支部：高橋 美保（五所川原市立西北中央病院）

〒037-0053 五所川原市布屋町 41

TEL 0173-35-3111 FAX 0173-35-0009

E-mail rehapt@seihoku-hosp.com

（リハ科全体のアドレスのため、本文中に宛名が必要）

上十三支部：清水 涼子（十和田市立中央病院）

〒034-0093 十和田市西 12 番町 14-8

TEL 0176-23-5121 FAX 0176-23-2999

E-mail rihabiri@hp-chuou-towada.towada.aomori.jp

（リハ科全体のアドレスのため、本文中に宛名が必要）

下北支部：四ツ谷 隆輔（東通村診療所）

〒039-4222 下北郡東通村砂子又字里 17-2

TEL 0175-28-5111 FAX 0175-28-5601

E-mail higashi.pt@e-nohana.com

（リハ科全体のアドレスのため、本文中に宛名が必要）

広報局ニュース編集部長：藤田 俊文（弘前大学大学院保健学研究科）

〒036-8564 青森県弘前市本町 66-1 TEL 0172-39-5981（直通&FAX 兼用）

E-mail pttoshi@cc.hirosaki-u.ac.jp

編集委員：山田克彦（国立病院機構弘前病院）、原田久美子（黒石病院）

對馬新吾（ときわ会病院）、金子 奈南夏（ときわ会病院）

中村学人（弘前脳卒中・リハビリテーションセンター）

宮川舞子（弘前脳卒中・リハビリテーションセンター）

山田奈未子（弘前脳卒中・リハビリテーションセンター）

広報局ホームページ担当：山谷 光仁（十和田市立中央病院）

E-mail mitsuhiro@nifty.com

編集後記

このたびの東日本大震災により被災された方々に、心からお見舞い申し上げます。

被災地の皆様に笑顔が戻り一日も早く復興されることをお祈り申し上げます。

去る 6 月 19 日、弘前大学医学部保健学科において 3 ヶ月遅れで「第 35 回青森県理学療法士学会」が開催されました。予定されていた特別講演、市民公開講座などは行われず、発表も口述のみでしたが、1 日のみの開催ながら参加者は 164 名と盛況でした。

震災により変更、制限があったに関わらず、非常に充実した学会であったように感じました。発表についても基礎的なものから実際の臨床場面の問題を掲げたものまで多岐に渡っていましたが、共通して感じたことは、それぞれの演題に掲げたテーマへの真摯な姿勢でした。

ついつい忘れがちな一つ一つへの取り組む姿勢の大切さに気づかされた学会でした。準備・運営に関わった皆様はもとより、発表された皆様、お疲れ様でした。ありがとうございました。

(文責：山田)

奥 付

編集；青森県理学療法士会

発行；PT 事務局 鱒ヶ沢町立中央病院リハビリテーション科内

〒 038-2761 青森県西津軽郡鱒ヶ沢町舞戸町字浦生 110-1

TEL・FAX 0173-72-5860

E-mail aomori-rigakukai@ptaomori.org